

令和3年9月10日開催

令和3年度第1回上越市博物館協議会資料 (歴史博物館)

- (1) 開館3年目及び令和2年度事業の成果について 1～10頁
- (2) 令和4年度事業計画(案)について(非公開) 11～12頁

上越市立歴史博物館 開館3年目及び令和2年度事業の成果

1 展覧会事業

【令和2年度】

展覧会名	会期	内容	入館者数(うち 展覧会観覧者数)
《逸品展示》 楊洲周延肉筆 画展	4月1日(水)～ 6月28日(日) (79日間→実績は 59日間) ※観桜会・GW期間 中無休	明治を代表する浮世絵師として知られる楊洲周延は、本名を橋本直義といい、浮世絵師になる前は高田藩士として激動の幕末を生き抜いた人物だった。本展では、橋本直義が歩んだ浮世絵師の道を、当館所蔵の最晩年作「流鏑馬之図」を含む肉筆画や浮世絵などで紹介した。	目標:35,000人 入館者数: 9,575人 (1,044人) 満足度:100%
《企画展》 直江津今町と 北前船の時代	7月18日(土)～ 10月18日(日) (85日間) ※観蓮会期間中無休	古くから日本海側有数の湊町として栄えた直江津今町。高田藩の外港であった直江津今町は、江戸時代から明治時代まで北前船の寄港地となり、城下町高田や頸城郡内、そして信濃へと物資を流通させる拠点として地域を支えた。本展では、「日本遺産」に認定された北前船と直江津今町の関わりについて、市指定文化財の福永家文書や船絵馬、船箆笥や船名板などの資料から紹介した。	目標:17,500人 入館者数: 16,030人 (5,085人) 満足度:95%
《企画展》 探検!むかし のくらし	11月14日(土) ～3月7日(日) (90日間→実績は 76日間)	かつて私たちの生活に欠かすことのできなかった様々な道具を紹介することで、人々の知恵や工夫を学び、現在の暮らしとの違いに目を向ける場を提供した。(※小学3年生の社会科学習に対応した内容)	目標:11,500人 入館者数: 9,663人 (3,573人) 満足度:100%
常設展のみ	(57日間)	常設展示「越後の都」の展示替えを年4回実施した。	目標:7,000人 入館者数: 10,290人 (1,981人) 満足度:100%
<ul style="list-style-type: none"> ・目標入館者数71,000人に対し、実績は45,558人(このうち有料観覧者:8,312人、無料観覧者:3,371人、ラウンジ等への無料入館者:33,875人)となった。 ・目標満足度(常設展示のみの期間を含む)が80%以上に対し、実績は97.3%となり、目標を達成することができた。(※満足度は「満足」「やや満足」「やや不満足」「不満足」の項目から「満足」「やや満足」と回答した人の割合) 			

※新型コロナウイルスによる緊急事態宣言のため4/19～5/10まで臨時休館、5/11は臨時開館。

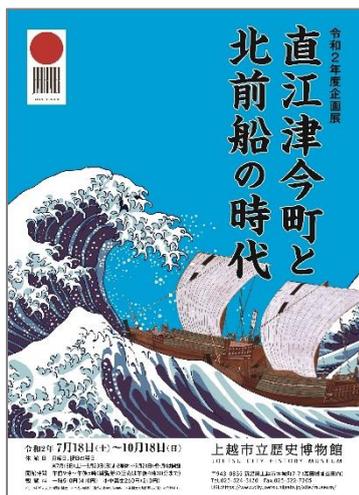
※大雪のため1/9～1/17、高田地区一斉雪下ろしのため1/21～1/27まで臨時休館。

【令和3年度】

展覧会名	会 期	内 容	入館者数（うち展覧会観覧者数）
《逸品展示》 新収蔵品展	4月1日（木）～ 6月13日（日） （67日間） ※観桜会・GW期間 中無休	高田図書館は、博物館ができる前に地域の歴史資料を収集する役割も担っていた。伊達政宗や堀秀治の書状、明治天皇が座った椅子、昭和初期の観桜会ポスターなど、高田図書館から博物館へ引き継がれた資料を中心に紹介した。	目標：29,400人 入館者数： 19,839人 (3,196人) 満足度：100%
《企画展》 日本スキー発祥 110年記念 レルヒ少佐と高 田の友人たち	7月10日（土）～ 9月5日（日） （55日間） ※観蓮会期間中無休	明治44年、レルヒ少佐による日本初の本格的なスキー指導が行われ、スキーは上越から全国へ広がった。レルヒの滞在は1年余りであったが、一般市民とも交流を深めている。本展では、レルヒと高田の友人たち（画家・新聞記者など）との交流の様子から、スキー指導にとどまらないレルヒの人柄や側面を紹介する。	目標：14,500人 入館者数（7月分）： 4,613人 (959人)
《特別展》 上越のみほとけ —「越後の都」の 祈り—	10月9日（土）～ 11月21日（日） （44日間） ※会期中無休	かつて上越市には越後国の政治・経済、そして文化の中心である越後国府がおかれ、「越後の都」として栄えていた。そのため、市内には優れた文化財が数多く伝来している。本展では、市内の文化財のうち重要文化財・県指定文化財を含む仏像の優品を一堂に会し、仏像を通して繁栄した「越後の都」の文化を紹介する。	目標：13,700人
《企画展》 探検！むかし のくらし	1月4日（火）～ 3月13日（日） （59日間）	小学校3年生のカリキュラムに対応した民具展示。昭和初期から昭和40年代までのくらしを豊富な民俗資料で紹介する。	目標：8,550人
常設展のみ	(96日間)	常設展示「越後の都」の展示替えを年4回実施する。	目標：8,150人
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標入館者数は74,300人（企画展開催期間：66,150人、常設展のみの期間：8,150人）。 ・ 目標満足度を80%とする。（満足度は「満足」「やや満足」「やや不満足」「不満足」の項目から「満足」「やや満足」と回答した人の割合） 			

【高田城三重櫓の展示替え】

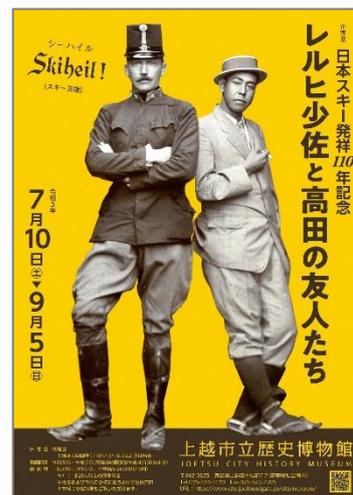
- ・ 令和2年度に高田城三重櫓が歴史博物館へ所管替えになった。
- ・ 歴史博物館常設展示との相乗効果を図るため館内の展示替えを行い、藩政時代の高田城と現在の高田城址公園を結びつけるパネル展示を行うとともに、城内の発掘調査で出土した資料等を中心とした展示へと内容を変更した。



令和2年度
企画展「北前船」チラシ



令和2年度
企画展「むかしのくらし」チラシ



令和3年度
企画展「レルヒ少佐」チラシ

<開館以来の入館数について>

		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
展示 観覧者数	うち有料	11,186	16,104	12,682	16,998	8,312	11,683
	うち無料	4,918		4,316		3,371	
無料ゾーン利用者数 (ラウンジ・カフェ・屋上)		25,030		65,743		33,875	
総入館者数		41,134		82,741		45,558	

<開館2、3年目の入館数について>

		開館2年目 (R1/7/21~R2/7/20)		開館3年目 (R2/7/21~R3/7/20)		増減	
展示室 観覧者数	うち有料	8,527	12,040	10,066	14,026	1,539	1,986
	うち無料	3,513		3,960		447	
無料ゾーン利用者数 (ラウンジ・喫茶・屋上)		36,973		42,891		5,918	
総入館者数		49,013		56,917		7,904	

<催事期間の入館者数>

催事名		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
観桜会	入館者数	29,006	5,451	11,289	開催期間は4/1~4/15
	1日あたりの 平均入館者数	1,934	363	753	
GW	入館者数	4,815	0	2,338	令和元年度：10連休 令和2年度：8連休 令和3年度：7連休
	1日あたりの 平均入館者数	482	0	334	
観蓮会※	入館者数	10,399	8,123	—	令和元年度：7/20~8/25 令和2年度：7/18~8/23 令和3年度：7/17~8/22
	1日あたりの 平均入館者数	281	220	—	

※催事名は令和元年度まで「蓮まつり」、令和2年度以降は「観蓮会」。

2 教育普及事業

【令和2年度】

(1) 展示解説会の実施

展覧会名	内 容
《企画展》 直江津今町と北前船の時代	会期中に 2 回実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として開催を中止した。
《企画展》 探検！むかしの暮らし	見学学校数（市内）：44 校（38 校） 見学児童数（市内）：1,479 人（1,267 人）

※土日祝日、観桜会・ゴールデンウィーク・観蓮会期間中は、常設展示室に展示解説員を配置し、随時解説対応を行った。



企画展「むかしの暮らし」小学校見学対応



企画展「むかしの暮らし」小学校見学対応

(2) 視察・団体受け入れ

視察・団体の申込みの際に展示解説の依頼があった場合、随時対応を行った。（新型コロナウイルス感染防止のため、ツアーの団体解説は4月1日以降中止している）

・人数：17件760人

(3) イベントの実施

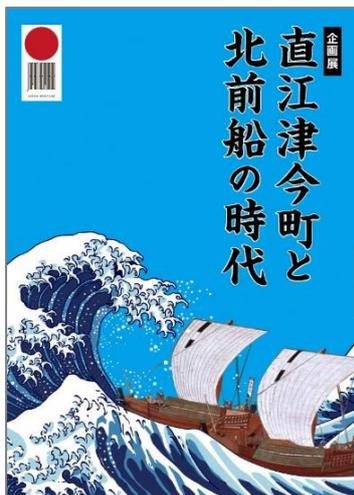
イベント名	内 容
教育コラボ 2020 学び愛フェスタ 関連イベント「高田城のスゴイところ発見ツアー」	内容：学び愛フェスタ関連イベントとして、高田城の魅力を紹介するフィールドワークを実施した。 日時：11月7日（土）10:00～11:30 会場：歴史博物館、高田城三重櫓、高田城址公園内 参加者数：7人
教育コラボ 2020 学び愛フェスタ に伴う施設無料開放	内容：学び愛フェスタの開催にあわせて、市内小中学生と同伴の保護者を対象に歴史博物館・高田城三重櫓・日本スキー発祥記念館を無料開放した。 ※高田城三重櫓・日本スキー発祥記念館は歴史博物館所管施設 期日：11月7日（土） 観覧者数：19人 (参考：高田三重櫓 22人、日本スキー発祥記念館 3人)



教育コラボ 2020 学び愛フェスタ関連イベント 「高田城のスゴイところ発見ツアー」

(4) 刊行物の発行

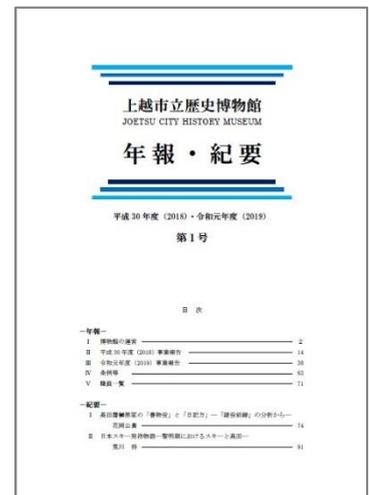
刊行物名	内容
『企画展 直江津今町と北前船の時代』パンフレット	企画展パンフレットとして作成。 (規格：A4判・24頁／印刷部数：1,000部／頒布価格：400円)
『探検！むかしの暮らし』探検ブック	子供向けのワークシートとして作成。内容は小学3年生の社会科学習にあわせている。来館した子供たちに無償配布した。 (規格：A5判・16頁／印刷部数：2,000部)
『上越市立歴史博物館 年報・紀要 第1号』(デジタル版)	掲載内容： (1) 年報 I 博物館の運営 II 平成30年度(2018)事業報告 III 令和元年度(2019)事業報告 IV 条例等 V 職員一覧 (2) 紀要 I 高田藩榊原家の「書物役」と「日記方」(花岡副館長執筆) II 日本スキー発祥物語(荒川主任執筆) ※歴史博物館ホームページ上で公開 (https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/nenpo.html)



企画展「北前船」パンフレット



企画展「むかしの暮らし」探検ブック



「年報・紀要 第1号」(表紙)

(5) ワークシートの作成・配布

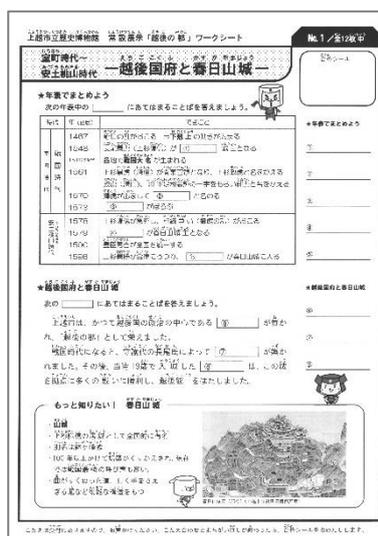
郷土の歴史に対する興味・関心を高めてもらうため、常設展示室で利用できる子供向けワークシートを作成し、展示室内で無償配布した。(配布開始日：令和2年11月20日～)

- ・配布枚数：延べ1,686枚

<ワークシートの種類>

①ワークシート(展示解説を読んで穴埋め問題に解答する)：全12枚

- ・No.1 越後国府と春日山城
- ・No.2 福島城と堀家
- ・No.3 松平忠輝と高田築城
- ・No.4 高田のすがた
- ・No.5 松平光長の時代
- ・No.6 移り変わる大名
- ・No.7 榊原家の高田入り
- ・No.8 城下町高田と港町直江津今町
- ・No.9 幕末維新の嵐
- ・No.10 高田藩の解体
- ・No.11 「軍都」高田へ
- ・No.12 雪国のくらしと民俗



◀ ワークシートNo.1

②チャレンジシート(上越の歴史に関するクイズに解答する)：3枚

- ・初級は小学3・4年生向け、中級は小学5・6年生向け、上級は中学生向けに作成

(6) 博物館実習生の受入れ

博物館実習を共同で行っている小林古径記念美術館の開館準備のため、令和2年度の受入れは行わなかった。

(7) 中学生職場体験の受入れ

例年、上越市「ゆめ」チャレンジ事業(上越市教育委員会、上越市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会主催)に協力し、市内中学生の職場体験を行っている。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により職場体験は中止となった。

(8) 出前講座・職員派遣等

講座名	内容
【職員派遣】 新潟県社会福祉協議会主催 シニアカレッジ新潟 基礎応用課程2年次	期日：6月9日(火) 演題：新潟県の歴史(上越編) 会場：高陽荘 参加者数：50人
【職員派遣】 新潟日報カルチャースクール上越教室主催 「地図から読みとく地域の歴史」	期日：7月31日(金) 演題：地図から読みとく地域の歴史 会場：新潟日報カルチャースクール上越教室

講座名	内 容
	参加者数：10人
【出前講座】 上越市高田地区公民館主催 「知りたい！私たちの郷土 オーレン教養 カレッジ」	期日：9月4日（金） 演題：榊原政岑と高尾太夫 姫路から高田へ 会場：高田地区公民館 参加者数：30人
【出前講座】 上越市金谷地区公民館主催	期日：9月16日（水）、9月23日（水）、9月30日 （水）の3日間 演題：高田藩と戊辰戦争 会場：金谷地区公民館、金谷山周辺、歴史博物館 参加者数：各10人
【出前講座】 上越市八千浦地区公民館主催 「ふるさと探訪」	期日：9月24日（木） 演題：直江津今町と北前船の時代 会場：上越市立歴史博物館 参加者：10人
【職員派遣】 新潟大学非常勤講師	期日：11月4日（水）、11月11日（水）、11月18日 （水）の3日間 演題：近世越後諸地域の歴史と社会 会場：新潟大学 参加者：約100人
【出前講座】 上越市教育委員会社会教育課主催 謙信 KIDS プロジェクト「上越の城」	期日：11月14日（土） 演題：上越の城（高田城） 会場：歴史博物館、高田城址公園 参加者数：16人
【職員派遣】 上越エネルギー懇談会主催 「エネルギーのまち 上越を考える」	期日：11月28日（土） 演題：上越近代史のあらまし—石油産業・信越 線・第13師団誘致— 会場：ホテルハイマート 参加者：100人
【職員派遣】 高田南城高等学校社会人講座 「古典と文化財」	期日：12月7日（月）、12月14日（月）の2日間 ※12月14日は荒天のため中止 演題：今町・直江津の歴史遺産を歩く 会場：直江津地区の寺社等 参加者：各30人

（9）人権・同和問題研修の実施

常設展示「越後の都」を会場として、上越市教育委員会学校教育課主催による小中学校および教育委員会職員対象（学校管理職、人権教育担当教諭、市教育委員会職員、上越教育事務所職員）の研修会を行った。

・期日：令和2年11月6日（金）、11月17日（火）、11月26日（木）の3日間

- ・人数：延べ97人

(10) ホームページ「おうちでミュージアム」の開設

新型コロナウイルスの影響により来館を自粛された方向けに、ホームページ「おうちでミュージアム」を開設した。

「おうちでミュージアム」では、開催中であった逸品展示「楊洲周延肉筆画展」の中から3作品を紹介し、毎週金曜日に更新を行った。

- ・期間：令和2年5月1日（金）～7月3日（金）の9週間（延べ9回更新）



【令和3年度】

(1) 講演会の実施

展覧会名	日時（予定）
《特別展》 上越のみほとけ―「越後の都」の祈り	<ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和3年10月16日（土）14:00～15:40 ・会場：リージョンプラザ上越 コンサートホール ・講師：川村知行氏（上越教育大学名誉教授）

(2) 展示解説会の実施

展覧会名	内容
《企画展》 日本スキー発祥110年記念 レルヒ少佐と高田の友人たち	日 時：令和3年7月17日（土）、8月7日（土） 時間はいずれも11:00～12:00 参加費：無料（ただし、観覧料が必要） 参加者数：延べ34人
《特別展》 上越のみほとけ―「越後の都」の祈り	日 時：令和3年10月23日（土）、11月6日（土） 時間はいずれも10:00～11:00 参加費：無料（ただし、観覧料が必要）
《特別展》 上越のみほとけ―「越後の都」の祈り 子供向け解説会 ※学び愛フェスタ関連イベント	日 時：令和3年11月20日（土） 10:00～10:40／14:00～14:40の2回 対 象：小中学生とその保護者 参加費：無料
《企画展》 探検！むかしの暮らし	新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら小学校の希望に応じて実施する予定
岡沢拠点収蔵施設公開	日 時：令和3年8月10日（火）、11日（水） 時間はいずれも10:00～16:00 参加費：無料 参加者数：延べ127人

※土日祝日、観桜会・ゴールデンウィーク・観蓮会期間中は、常設展示室に展示解説員を配置し、随時解説対応を行う。

※新型コロナウイルス感染症の状況によって中止の場合あり。

※このほかに団体等で依頼があった場合、随時展示解説を行う。

(3) 刊行物の発行

刊行物名	内 容
『特別展 上越のみほとけ―「越後の都」の祈り―』図録	特別展図録として作成。 (規格：A4判変形・64頁、印刷部数：1,000部、頒布価格：1,000円)
『探検！むかしのくらし』探検ブック	小学3年生の社会科学習にあわせた子供向けワークシートを作成、来館する小学生3年生に無償配布。 (規格：A5判・16頁、印刷部数：2,000部)
『年報・研究紀要（デジタル版）』	令和2年度事業をまとめた年報と研究紀要を発行する。紙ベースの印刷は行わず、データをホームページで公開する。

(4) 博物館実習の受入れ（小林古径記念美術館との共同事業）

実習期間	内 容
8月3日(火)～8月7日(土)の5日間	講義：「資料の保存と管理」「展示論」など 実習：「資料の取扱い」「資料の整理」「資料台帳作成について」など ※受講条件は、市内出身者もしくは市内の大学に通う博物館学芸員を志望する学生（定員4人） 実習生人数：1人（京都女子大学）

(5) 中学生職場体験の受入れ

上越市「ゆめ」チャレンジ事業（上越市教育委員会、上越市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会主催）に協力し、市内中学生の職場体験を受け入れる予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止。代わりに、職業講話（学校訪問）での対応となる。

3 調査研究事業

【令和2年度】

(1) 民俗資料整理作業

- ・黒岩拠点収蔵施設（柿崎区）の保管資料を岡沢拠点収蔵施設（中郷区）へ移動し、施設の集約を進めた。移動後は資料状態を確認し適正管理に努めるとともに、未整理となっている資料については順次整理作業を実施した。
- ・新規受入れ資料の台帳整備を行った。

(2) 歴史・民俗資料収集

- ・購入数 11件11点（歴史資料6件6点、参考図書5件5冊）
- ・寄贈数 30件382点（歴史資料4件15点、民俗資料26件367点）

(3) 調査研究事業

- ・令和2年度企画展「直江津今町と北前船の時代」開催にかかる調査
- ・令和3年度特別展「上越のみほとけ—『越後の都』の祈り—」開催にかかる調査
- ・高田図書館資料の移管に伴う調査・整理

【令和3年度】

(1) 民俗資料整理作業

- ・新規受入れ資料の台帳整備を行う。

(2) 歴史・民俗資料収集（令和3年4月1日～7月20日）

- ・購入数 0件 0点
- ・寄贈数 13件 87点（歴史資料2件2点、民俗資料11件85点）

(3) 調査研究事業

- ・令和3年度特別展「上越のみほとけ—『越後の都』の祈り—」開催にかかる調査
- ・日本スキー発祥記念館の収蔵資料調査・整理

4 成果と課題

(1) 令和2年度事業の成果

- ・企画展「直江津今町と北前船の時代」を開催し、高田藩の外港であった直江津今町が江戸時代から明治時代まで北前船の寄港地となり高田城下や頸城郡内、信濃へと物資を流通させる拠点として地域を支えたことを紹介した。
- ・時機を得た展覧会の開催によって、市民が地域の歴史や文化に触れる機会を提供し、郷土の歴史・文化への理解を深めることができた。
- ・例年開催している「探検！むかしのくらし」では、44校1,479人（うち市内38校1,267人）の小学生が見学した。
- ・黒岩拠点収蔵施設に保管していた民俗資料を岡沢拠点収蔵施設に移動し、施設の集約と資料の一元管理を進めた。

(2) 今後の課題

- ・入館者数目標を達成できなかった主な要因は、新型コロナウイルス感染拡大による全国を対象とした緊急事態宣言に伴い臨時休館としたことや、宣言解除後も感染拡大の影響が続いたこと、さらには、冬季の豪雪により臨時休館としたことによるもの。
- ・引き続き施設の新型コロナウイルス感染症の防止対策に努め、利用者が安全に安心して利用できるよう、適切な管理運営を行う。
- ・収蔵資料や市内の歴史に関する研究を深め、新たな知見の蓄積に努めていくとともに、その成果を市民に還元するため、論文発表や講座・展覧会を実施していく。

令和3年9月10日開催

令和3年度第1回上越市博物館協議会資料 (水族博物館)

- (1) 開館3年目及び令和2年度事業の成果について 1～12頁
- (2) 令和4年度事業計画について（非公開） 13～15頁
- (3) 水族博物館の鯨類飼育環境の検証結果を踏まえた対応について 16～17頁

上越市立水族博物館 開館3年目及び令和2年度事業の成果

1 事業実施状況

(1) 常設展示における取組

【令和2年度】

事業内容	期 間	内 容
マゼランペンギンの繁殖	前年度1月～5月	新施設で2回目となるマゼランペンギンの繁殖シーズンを迎え、12羽の繁殖に成功した。
ドルフィンパフォーマンスの実施	6月22日(月)～11月20日(金)	新型コロナウイルス感染症対策のため休止していたドルフィンパフォーマンス「Rhythm of Dolphin」を3階イルカスタジアムにて再開した。
水中ドルフィンパフォーマンス実施	11月21日(土)～翌年度4月24日(土)	冬期間の演習展示として、水中ドルフィンパフォーマンス「Art of Dolphin」を実施した。
展示の一部再編	12月4日(金)～継続中	展示の可変性を向上させるために、「いか・タコゾーン」「しんかいワールド」を統合し、「神秘的なる海へ」として再編した。
マゼランペンギン展示休止	1月24日(日)～3月28日(日)	近県での高病原性鳥インフルエンザ発生を受け、防疫措置としてマゼランペンギンの展示を休止し、全個体を屋内に収容した。
マゼランペンギン展示再開	3月29日(月)	高病原性鳥インフルエンザ終息を受け、マゼランペンギンの展示を再開した。

【令和3年度】

事業内容	期 間	内 容
マゼランペンギンの繁殖	前年度3月～継続中	5羽が生育中である。
ドルフィンパフォーマンスのリニューアル実施	4月25日(日)～継続中	冬期間の水中パフォーマンスから切り替え、3階イルカスタジアムにおけるパフォーマンスをリニューアルした内容で実施している。

(2) 特別展・企画展の実施状況

【令和2年度】

事業内容	期 間	内 容
企画展「うみがたり庭園」	前年度3月7日(土)～4月15日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「高田城100万人観桜会観桜会」との連携企画として、3階ロビーに桜を添えた特設水槽を設置した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による観桜会の規模縮小を受け、本展示に係るPR

		<p>などは縮小した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示水槽：1基 ・展示生物：ニシキゴイ、キタノメダカ、ミナミメダカ
企画展「ウミガメ展示」	8月5日(水)～ 9月30日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、展示を休止しているタッチングプールを活用し、ウミガメ類2種4個体を展示した。 ・展示水槽：タッチプール ・展示生物：アオウミガメ2個体、アカウミガメ2個体 <p>※アカウミガメ1個体は、平成31年に保護した個体、他の個体は南知多ビーチランド(愛知県南知多郡美浜町)から借り受けたもの</p>
特別展「食べがたり」 ～食べて、生きる～	10月17日(土)～ 12月20日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の食をテーマとして、生体、標本、動画による展示を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、3密回避や移動制限等により来館が困難な方々にも情報を提供できるよう、公式HP、動画配信サイトの公式チャンネルを活用したりリモート形式の展示を取り入れた。 ※入館者は、館内で配布する冊子又は展示会場のQRコードからも動画にアクセス可能とした。 ・展示資料については、国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所赤松友成博士の協力を得た。 ・展示水槽：常設展示を活用 ・展示生物：ミスジリュウキュウスズメダイ、マツカサウオ、アカマツカサ、イセエビ ・展示標本：ミズダコロ器、マッコウクジラの歯、ヒゲクジラのヒゲ、ムラサキウニの口器、サメの歯に係る11点 ・展示映像：タツノオトシゴ、サザエ、コイ、トラフグ、タガメ、ミズダコ、アオリイカ、ザラビクニン、アバチャン、アカクラゲ、サンゴ類、マゼランペンギンに係る10種

企画展「クリスマス展示」	12月5日(土)～ 25日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス为主题として、3階ロビーに特設水槽とミズクラゲを収容したグラスツリーを設置した。 ・期間中は、サンタダイバーによる給餌やクリスマスカードのプレゼント、館内装飾などにより、季節感を演出した。 ・展示水槽：1基 ・グラスツリー水槽：1式 ・展示生物：シロホシアカモエビ、コンゴウフグ、ミズクラゲ
企画展「正月展示」	12月28日(月)～ 1月31日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・干支をテーマとして、3階ロビーに特設水槽を設置し、「丑」にちなんだ名前を持つ生物を展示した。 ・期間中は、横浜・八景島シーパラダイスの正月イベントでオタリアが書いた「丑」の書初めや金屏風、野立傘の設置、大水槽における牛柄の衣装を着たダイバーによる給餌などにより、正月の華やかな雰囲気演出した。 ・展示水槽：1基 ・展示生物：ウシノシタ、ウミウシ
企画展「クリオネが舞う流水の世界」	2月6日(土)～ 3月7日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の風物詩としても人気が高い「ハダカカメガイ」（通称クリオネ）と約100年ぶりに新種として発見された「ダルマハダカカメガイ」を展示した。 ・水槽背後の壁面には、クリオネが分布する流水の海の様子をプロジェクターで壁に投影し、臨場感を演出した。 ・展示水槽：2基 ・展示生物：ハダカカメガイ、ダルマハダカカメガイ



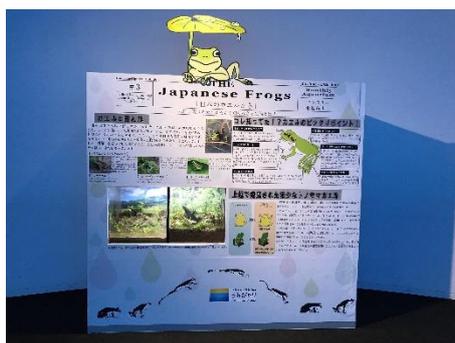
特別展「食べがたり」の配布冊子



企画展「クリオネが舞う流水の世界」

【令和3年度】

事業内容	期 間	内 容
特別展「マゼランペンギン展」	6月19日(土)～ 継続中 ※9月5日(土)終了予定	<ul style="list-style-type: none"> ・開館3周年のメイン企画として、マゼランペンギンをテーマとした、パネル及び映像による展示を実施している。 ・「衣食住」のカテゴリに分けてペンギンの生態を紹介するとともに、繁殖期には育雛の映像も紹介している。
マンスリー水槽の設置	<u>4月度</u> 4月3日(土)～25日(日) <u>5月度</u> 4月29日(木)～5月30日(日) <u>6月度</u> 6月5日(土)～27日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習機会の増加、話題創出を図るための新規企画として、月単位で展示を更新するマンスリー水槽を設置し、情報発信を行っている。 ・4月：ダンゴウオ ・5月：グソクムシ ・6月：カエル



6月度マンスリー水槽「カエル」

(3) その他活動の状況

【令和2年度】

事業内容	期 間	内 容
令和2年生まれのマゼランペンギングループ名の募集・発表	募集 7月1日(水)～19日(日) 発表 8/1(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・水族博物館で誕生したマゼランペンギンに対する愛着を育むため、入館者を対象として令和2年生まれのマゼランペンギングループ名を募集した。 ・応募総数355通の中から、グループ名を「かたりんず」に決定し、発表した。
ノコギリザメの展示	9月16日(水)～10月15日(木)	2階円柱水槽において、深海性のサメである「ノコギリザメ」を展示した。
ヒゲナガヤギウオ展示	9月26日(土)～継続中	上越市沖で発見され、その存在が認められた「ヒゲナガヤギウオ」を展示した。

GoTo 直江津商店街イベントにおけるマゼランペンギンの出張展示	10月24日(土)・25日(日)	直江津地区互の市広場にて実施された GoTo 直江津商店街イベントにおいて、マゼランペンギンの出張展示を実施した。
テングノタチ氷漬け標本の展示	12月19日(日)～26日(土)	1階催事ホールにおいて、糸魚川市能生で捕獲された深海魚「テングノタチ」の氷漬け標本を展示した。
「謹賀新ペン」の実施	1月1日(金)～3日(日)	3階イルカスタジアムにおいて、マゼランペンギンが「謹賀新年」の文字が描かれたカードを引っ張り表示させる演示展示を実施した。
ダイオウイカ冷凍標本の展示	3月20日(土)・21日(日)	屋外タッチングプール前において、3月16日(火)に糸魚川市姫川港で発見された「ダイオウイカ」を冷凍標本として展示した。



「テングノタチ」氷漬け標本



「ダイオウイカ」冷凍標本

【令和3年度】

事業内容	期間	内容
黄金色のオニオコゼの展示	4月27日(火)～継続中	2階「私たちと日本海」ゾーンにおいて、有間川沖で捕獲された黄変種の「オニオコゼ」を展示している。
巨大ヒラメの展示	5月7日(金)～継続中	屋外タッチングプールにおいて、五智沖で捕獲された「ヒラメ」(体長90cm、体重10.8kg)を展示している。
ユウレイイカ冷凍標本の展示	5月15日(土)・16日(日)	1階催事ホールにおいて、名立沖で捕獲された「ユウレイイカ」を冷凍標本として展示した。



黄変種の「オニオコゼ」



巨大「ヒラメ」

(4) 施設・設備の機能向上

水族博物館の魅力や役割をより一層高めるために、展示解説の充実や飼育展示設備の機能向上に取り組んだ。

【令和2年度の主な取組】

項目	内容
内照式解説板増設	展示解説の充実により、入館者の学習意欲に応えるとともに、学習効果の向上を図るため、新たに内照式の解説板を作製し、設置した。
冷水系展示水槽改修	夏期を中心とした湿度が上昇する期間における冷水系展示水槽のガラス面の結露防止対策として、ガラス面の二重化を図った。
種名板設置角度調整	種名版の視認性を向上させるため、種名板と壁面の上に金属プレートを挿入し、下向きに角度を付与した。



内照式解説板増設



種名板設置角度調整

【令和3年度の主な取組】

令和3年度においては、現在、解説板増設やマゼランペンギンミュージアムのなどの取組を進めているところである。

(5) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職員のマスク着用や館内消毒、入館者への注意喚起など、基本的な防疫措置のほか、入館制限や臨時休館などの対策を実施した。

【令和2年度】

月日	対応	内容
前年度3月4日(水)～	小・中学生・高校生の入館制限を継続	政府の要請を受け、小・中学校、高等学校の臨時休業及び児童・生徒の自宅待機措置がとられていることに伴い、小・中学生、高校生の入館制限を継続
4月1日(水)	館内プログラムの休止	3密状態発生のおそれのあるシロイルカファンタイム、ペンギンフィーディング、教育プログラムを休止
4月6日(月)	小・中学生・高校生の入館制限を解除	小・中学校、高等学校の再開を受け、小・中学生・高校生の入館制限期間を解除

4月9日(木)	小・中学生・高校生の入館制限の再開	小・中学校、高等学校の部活動中止に伴い、小・中学生、高校生の入館制限を再開
4月11日(土)	感染拡大防止対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ドルフィンパフォーマンスの休止 ・入館制限の実施（館内滞留者数の上限を500人として設定） ・職員の勤務体制を2グループ制に変更 ・感染防止と併せて、感染者発生時に備え、職員を2つのグループに分け、出勤日3日、自宅待機1日、休日2日のローテーションに変更
4月18日(土)	館内レストランの休業	5月6日(水)までを期間として、館内レストランの営業を休止
4月19日(日)	臨時休館開始	国の緊急事態宣言の対象区域拡大に伴い、5月6日(水)までを期間として臨時休館を開始
5月1日(金)	臨時休館期間の延長	臨時休館期間を5月10日(日)まで延長
5月11日(月)	臨時休館の解除	<ul style="list-style-type: none"> ・国の基本的対処方針の変更及び県の緊急事態措置の見直しを受け、臨時休館を解除 ・館内滞留者数の上限を300人として設定
6月22日(月)	館内プログラムの再開	<ul style="list-style-type: none"> ・ドルフィンパフォーマンスを再開 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、座席数485人に対し、定員200人で実施 ・土日祝日など繁忙日は、整理券を配布して対応
6月27日(土)	入館制限の変更	館内滞留者数の上限を500人として設定
7月23日(木)	入館制限の変更	館内滞留者数の上限を900人として設定
7月23日(木)～ 26日(日)、8月1日(土)・2日(日)、8日(土)～ 16日(日)	インターネットを活用した入館予約の実施	入館制限を実施する中、館内滞留者数の管理、混乱防止を図るため、インターネットを活用した入館予約を実施

【令和3年度】

月 日	対 応	内 容
4月29日(木)～ 継続中	入館制限の変更	館内滞留者数の上限を1,200人として設定
	観覧制限の変更	<ul style="list-style-type: none"> ・ドルフィンパフォーマンスの定員上限を着席180人、立ち見90人として設定 ・混雑状況に応じ、整理券を配布
4月29日(木)～ 5月5日(水)	インターネットを活用した入館予約の実施	入館制限を実施する中、館内滞留者数の管理、混乱防止を図るため、インターネットを活用した入館予約を実施

(6) 入館者数

【令和2年度】

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
有料	1,961	4,758	16,126	27,272	35,745	28,231	25,492	21,079	8,964	3,613	9,775	19,334
無料	1	3	38	416	649	580	676	304	175	74	183	778
合計	1,962	4,761	16,164	27,688	36,394	28,811	26,168	21,383	9,139	3,687	9,958	20,112

区分	合計
有料	202,350
無料	3,877
合計	206,227

繁忙期の入館者数

・お盆期間中 (8/8～8/16) : 16,459人

・年末年始 (12/26～1/3) : 2,824人

※ゴールデンウィーク期間は、新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休館

【令和3年度】

単位：人

区分	4月	5月	6月	合計
有料	16,319	21,602	18,049	55,970
無料	168	209	185	562
合計	16,487	21,811	18,234	56,532

【開館以来の入館者数】

単位：人

区分	開館1年目 (H30/6/26～R1/6/25)	開館2年目 (R1/6/26～R2/6/25)	開館3年目 (R2/6/26～R3/6/25)	合計
有料	888,294	362,117	235,567	1,485,978
無料	11,308	4,215	4,371	19,894
合計	899,602	366,332	239,938	1,505,872

2 教育普及事業

(1) 対象の拡充

利用者のニーズに応えるため、令和2年10月1日から、教育プログラムの参加対象の拡充を図った。

区分	プログラム	変更前	変更後
社会教育プログラム(個人)	バックヤードツアー	小学3年生以上	小学1年生以上
社会教育プログラム(団体)	バックヤードツアー		
	館内ガイドツアー		
	レクチャー		
学校団体向けプログラム	バックヤードツアー		
	館内ガイドツアー		
	レクチャー		

学校団体向けプログラム	職場体験	上越市内の学校	地域限定なし
	職業インタビュー		
	出張授業		

(2) 実施状況

新型コロナウイルス感染症対策として、一部プログラムのみ実施している状況である。

区 分	プログラム	令和2年度	令和3年度
社会教育プログラム(個人)	バックヤードツアー	通年休止	休止中
	夜間学習会	中止	中止
	自由研究支援	中止	中止
社会教育プログラム(団体)	バックヤードツアー	通年休止	休止中
	館内ガイドツアー	通年休止	休止中
	レクチャー	年度途中から再開	実施中
学校団体向けプログラム	バックヤードツアー	通年休止	休止中
	館内ガイドツアー	通年休止	休止中
	レクチャー	年度途中から再開	実施中
	職場体験	通年休止	休止中
	職業インタビュー	通年休止	休止中
	出張授業	年度途中から再開	実施中

(3) 社会教育プログラム

- レクチャー (団体)

【令和2年度】

実施日	対 象	参加人数
1月26日	見附市新潟公民館	16
2月20日	関川村緑の少年団	29
合 計		45

【令和3年度】

現在、実績なし

(4) 学校団体向けプログラム

- レクチャー

【令和2年度】

実施日	対 象	参加人数
9月11日	長野市立豊野東小学校5年生	33
9月17日	長岡市立寺泊中学校3年生	62
9月25日	妙高市立新井南小学校3・4年生	27
10月2日	長野日本大学小学校5年生	37
10月2日	新潟県立南城高等学校2年生	66
10月6日	魚沼市立広神中学校3年生	67
10月8日	新潟県立久比岐高等学校3年生	63

10月16日	飯綱町立三水小学校6年生	33
10月21日	上越市立城北中学校(特別支援学級1~3年生)	28
10月22日	筑北村立筑北小学校6年生	35
11月5日	出雲崎町立出雲崎中学校3年生	43
11月6日	新発田市立七葉中学校3年生	51
11月17日	新潟県立南城高等学校1~4年生	40
12月11日	妙高市立新井小学校6年生	74
1月27日	上越市立八千浦小学校6年生	27
2月3日	上越市立北諏訪小学校6年生	8
2月10日	糸魚川市立西海小学校4年生	20
2月22日	上越市立浦川原小学校5年生	21
2月25日	上越市立国府小学校3年生	66
2月25日	出雲崎町立出雲崎小学校6年生	28
3月8日	阿賀野市立京ヶ瀬中学校2年生	116
3月9日	上越市立直江津小学校4年生	18
3月11日	須坂市立相森中学校3年生	119
3月11日	新潟市立白根北中学校2年生	124
3月18日	富山第一高等学校2年生	14
3月18日	新潟県立月ヶ岡特別支援学校	11
合 計		1,231

【令和3年度】

実施日	対 象	参加人数
4月16日	新発田市立佐々木中学校3年生	24
4月21日	加茂市立七谷中学校3年生	11
5月13日	新潟市立巻東中学校3年生	100
5月21日	新潟市立木戸中学校3年生	56
5月28日	妙高市立新井小学校6年生	79
6月10日	糸魚川市立木浦小学校5・6年生	4
合 計		274

○ 出張授業

【令和2年度】

実施日	対 象	参加人数
10月9日	上越市市立浦川原小学校6年生	24
11月19日	上越市立名立中学校1~3年生	12
11月30日	上越市立雄志中学校1~3年生	145
合 計		181

【令和3年度】

実施日	対 象	参加人数
5月26日	上越市立柿崎中学校2年生	61
6月17日	柏崎市立北鱒石小学校6年生	21
6月28日	糸魚川市立南能生小学校5・6年生	12
合 計		94

3 情報発信

施設の認知度向上やブランド化を図り、入館促進に繋げるため、開館直前から継続的に情報発信を行ってきた。

【令和2年度】

単位：件

月	TV	新聞	ラジオ	WEB	雑誌他	合計	主な内容
4月	1	5	5	3	2	16	館内プログラム休止、臨時休館
5月	8	11	4	14	0	37	施設再開、シロイルカ死亡
6月	4	14	5	17	1	41	マゼランペンギンの雛、館内プログラム再開
7月	10	21	5	17	0	53	シロイルカ死亡、ペンギングループ名募集、入館予約導入
8月	9	17	5	11	0	42	ウミガメ展示、ペンギングループ名発表
9月	1	6	4	3	0	14	ノコギリザメ展示、ヒゲナガヤギウオ展示
10月	1	6	5	1	1	14	食べがたり、駅前商店街出展
11月	3	3	0	4	4	14	ART OF DOLPHIN
12月	3	12	0	5	6	26	テングノタチ展示、クリスマス展示
1月	2	8	4	3	1	18	正月イベント、マゼランペンギン展示休止
2月	10	17	4	20	1	52	クリオネ展示
3月	6	16	4	5	0	31	マダコの赤ちゃん誕生、ダイオウイカ標本展示、マゼランペンギン展示再開
合計	58	136	45	103	16	358	

【令和3年度】

単位：件

月	TV	新聞	ラジオ	WEB	雑誌他	合計	主な内容
4月	5	13	5	26	1	50	ダンゴウオ、シャークナゲット
5月	6	9	5	7	0	27	黄金色のオニオコゼ、グソクムシ、ユウレイイカ標本展示
6月	9	17	3	35	0	64	マゼランペンギンヒナ誕生、マンスリー水槽、開館3周年イベント
合計	20	39	13	68	1	141	

4 調査研究

【令和2年度】

- ・マゼランペンギンに係る新施設開館後の飼育状況及び繁殖に関する調査
- ・採集調査で得られた生物に関する調査

【令和3年度】

- ・マゼランペンギンに係る繁殖に関する調査
- ・採集調査で得られた生物に関する調査
- ・キタノアカヒレタビラに係る上越市内での保全活動に向けた調査

5 入館者動向

入館者アンケートによる。

【令和2年度】

(1) 男女別

単位：％

男性	女性	合計
43.1	56.9	100.0

(2) 年齢層別

単位：％

10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
7.6	31.3	26.0	12.9	9.9	8.2	2.9	0.9	0.3	100.0

(3) 形態別

単位：％

家族	友人	カップル	1人	その他	合計
52.2	5.9	16.4	16.1	9.4	100.0

(4) 交通手段別

単位：％

自動車	バス	電車	自転車・徒歩	合計
88.8	0.3	5.3	5.6	100.0

(5) 居住地別

単位：％

上越	県内	長野	富山	その他	合計
14.9	40.0	21.6	1.0	22.5	100.0

【令和3年度】

現在のところ、調査サンプル数不足のため、未集計である。

水族博物館の鯨類飼育環境の検証結果を踏まえた対応について

1 施設面での対応

(1) 日除けの設置

- ・今年度、直射日光によるプールの水面上の気温上昇を抑制するため、イルカプール及びふれんどプール上部の大庇開口部への日除けの設置を進めてきた。
- ・イルカプールについては、7月15日に日除けの設置が完了し、7月16日から運用を開始している。
- ・ふれんどプールについては、10月下旬に日除けの設置を完了させる計画である。

【イルカプールの日除け設置状況】



日除け1枚（海側）展開時



日除け2枚展開時



日除け収納時

(2) 防風壁の設置

- ・冬期間における風の吹込みによる水面上の気温低下を抑制するため、イルカプールの北面及び西面に防風壁を設置する。
- ・現在、設置工事の発注に向けた準備を進めており、冬期前に防風壁の設置を完了させる計画である。

2 飼育展示管理面での対応

- ・ 検証過程における委員の見解などから、必要性があると考えられ、かつ、直ちに取り組むことが可能な事項については、検証が終了する前から対応を進めてきた。
- ・ また、検証終了後は、検証結果を踏まえ、指定管理者との検討や協議、他の鯨類飼育園館の意見の聴き取りなどを行いながら、対応を進めている。

【主な対応の状況】

項目	概要
水温管理	外気温の変化に対する個体の対応力の向上を図るため、水温調整による個体の身体づくりについて、実施計画の作成を進めている。
水質管理	従来からの水質検査に加え、市や新潟県が定期的に公表する取水海域や流入河川の水質データについてもモニタリングを継続的に実施している。
潜在的ストレス要因の軽減	指定管理者において検証結果を踏まえた新たな飼育展示ガイドラインを作成し、当該ガイドラインに基づき、飼育展示に取り組むとともに、より良い飼育環境や飼育手法を模索している。
餌の成分分析	定期的な餌の成分分析を実施しており、今後、データを蓄積することで、餌の成分と鯨類の健康状態の関係性を明らかにする。
検査・診断等体制の充実	検査精度の向上を図るため、検査機器の誤差の把握や外部機関による検査の実施などを進めるとともに、獣医師の診断書表記の統一化による診断結果の明確化などに努めている。
他園館等との情報共有	(公社)日本動物園水族館協会(JAZA)、(一社)日本水族館協会(JAA)を通じて、検証結果の共有を図るとともに、個別に他園館との情報交換を行っている。